

学習理論に基づいた協同学習による授業改善の手法

■講師



立川 明
(高知大学・総合教育センター・准教授)

高知大学理学部化学科卒
九州大学大学院分子工学専攻前期博士課程修了
高知大学理学部助手
高知大学大学教育創造センター(現総合教育センター大学教育創造部門)准教授
SPOD フォーラムでアクティブラーニングの講習を担当

■プログラム概要

「記憶」のメカニズムとそれに及ぼす様々な効果について学び、それを元に効果的に知識や理解を高め、能力を身につける協同学習の手法を学びます。その後で、自分の授業を見直して新しいプログラムを作ってみましょう。

- ・ミニレクチャー:「記憶」に関するいくつかの知見について
- ・ミニレクチャー:学習歴の多様化に対応する手法「協同学習」のねらい
- ・事例紹介:TBLを導入した初年次対象の「化学」, 知識と能力の獲得
- ・ワークショップ:問を作ろう
- ・ワークショップ:90分の授業をデザインしてみよう

■主な受講対象

授業効果を高めたい教員、FD・SD研修担当教職員、教員になりたい学生、教科を教えながら学生の能力も高めたい教職員・学生

■本プログラムの到達目標

1. 受講生が効率よく記憶できるための工夫ができる。
2. 協同学習のねらいが説明できる。
3. 協同学習の効果をねらった授業の組み立てができる。

■日時・会場・受講定員

日 時 : 平成24年8月24日(金)13:30~15:30
会 場 : 徳島大学 常三島キャンパス 共通教育5号館 3階 5-302・303教室
定 員 : 75名